



the Association
for Studies of Culture
and Representation

16

シンポジウム

食べること、生きること——歴史・生命・表象——

藤原辰史(京都大学)
河村彩(東京工業大学)
星野太(東京大学)
コメンテーター——磯野真穂(人類学者
司会——福田貴成(東京都立大学)



the Association
for Studies of Culture
and Representation

シンポジウム



稲田俊輔 Cook'n' Talk Show

対談「食べること、書くこと、しゃべること」

稲田俊輔(エリックサウス総料理長)×三浦哲哉(青山学院大学)

司会——福田貴成(東京都立大学)

パフォーマンスイベント

言葉と(食べ)物

2022.7.2

[土]

10:00–12:00

研究発表

(午前)

パネル1
現代芸術における〈ヴァニタス〉モチーフ
—— 虫・布・花
1階110番教室

W.G.ゼーバルト
『土星の環』とヴァニタス
鈴木賢子（東京藝術大学）

糸・織り・布・服
——石内都の写真にみる儚さ
マーレン・ゴツィック（福岡大学）

「ヴァニタス」といけばな
——花の写真の儚さ
結城円（ルードヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン）

コメンテーター | 香川檀（武蔵大学）

司会 | 香川檀（武蔵大学）

パネル2
大正期の映画／
映画館のテキストとコンテキスト
—— 映画宣伝資料を参照して
2階210番教室

東京における
映画興行地図の変容
——サイレント時代の映画配給構造
柴田康太郎（日本学術振興会）

「メロドラマ」としての映画
『五郎正宗孝子伝』（1915年）に
関する考察
——〈継子いじめ〉の系譜から
紙屋牧子（玉川大学）

「表現」性の翻訳
——ドイツ映画の内外における流通と聴覚的要素
白井史人（名古屋外国語大学）

コメンテーター | 上田学（神戸学院大学）

司会 | 紙屋牧子（玉川大学）

13:30–16:15

シンポジウム

1階120番教室（ハイブリッド中継）

食

べ

る

こ

と

、

生

き

る

こ

と

——歴史・生命・表象——

藤原辰史（京都大学） 河村彩（東京工業大学） 星野太（東京大学）

コメンテーター | 磯野真穂（人類学者）

司会 | 福田貴成（東京都立大学）

16:15–17:00

歓談会

1階120番教室

※マスク着用をお願いします。飲食の提供はございません。

17:00–18:45

パフォーマンス・イベント

1階120番教室（ハイブリッド中継）

「言葉と(食べ)物」

稲田俊輔 Cook’n’Talk Show

対談 | 食

べ

る

こ

と

、

書

く

こ

と

、

しゃ

べ

る

こ

と

稲田俊輔（エリックサウス総料理長）× 三浦哲哉（青山学院大学）

司会 | 福田貴成（東京都立大学）

18:45–19:05

学会賞授賞式

1階120番教室

2022.7.3

[日]

10:00–12:00

研究発表

(午前)

開催校企画ワークショップ
映画理論の現在
2階210番教室

アンドレ・バザンと「映画理論」
角井誠（東京都立大学）

映画理論の周縁から
——トム・ガニングをめぐる
長谷正人（早稲田大学）

鑑賞の時間を操作する
細馬宏通（早稲田大学）

観客論の視座
伊津野知多（日本映画大学）

フェミニスト映画理論の現在
木下千花（京都大学）

司会 | 堀潤之（関西大学）

パネル3
大都市に抗する建築—— 建築理論・レトロスペク
ティヴ・オルタナティヴ
1階110番教室

空気調整と建築的ロボトミー
——1930年前後のアメリカにおける
「窓のない建物」をめぐる議論について
印牧岳彦（神奈川大学）

大文字の歴史が生まれる前に
——マンフレッド・タフーリの設計活動と
「都市の建築」
片桐悠自（東京都市大学）

大都市の小建築
——「貧しいプロジェクト」への理論的考察
大村高広（GROUP）

コメンテーター | 後藤武
（株式会社 後藤武建築設計事務所）

司会 | 北川佳子（FLOT/S 建築設計事務所）

12:15–12:45

総会

（会員のみ）

3階310番教室

13:30–15:30

研究発表

(午後1)

パネル4
映像アーカイブ考察
—— 福岡、広島、ソウル、
そしてヨーロッパから学ぶこと
2階210番教室

地域映像アーカイブとの対話
—— 福岡・広島の事例を中心に
石原香絵（NPO法人映画保存協会）

韓国映像資料院(KOFA)との対話
——プロアクティブなアジアからの配信とその意義
Kim Joon Yang（新潟大学）

ヨーロッパの
フィルムアーカイブとの対話
——European Film Gatewayに見る
デジタルアーカイブの可能性と課題
常石史子（獨協大学）

コメンテーター | とちぎあきら
（独立行政法人国立美術館 国立映画アーカイブ）

司会 | ミツヨ・ワダ・マルシアーノ（京都大学）

パネル5
翻訳のアイデア—— 言語、想起、魔術
3階310番教室

ジョルジョ・アガンベン
『散文のアイデア』と翻訳
高桑和巳（慶應義塾大学）

想起としての翻訳
——ヴァルター・ベンヤミン「翻訳者の使命」再考
竹峰義和（東京大学）

魔術としての翻訳
吉田恭子（立命館大学）

コメンテーター | 佐藤元状（慶應義塾大学）

司会 | 佐藤元状（慶應義塾大学）

パネル6
近現代ブラジルにおける芸術と「遊び」の精神
1階110番教室

オズヴァウヂ・ヂ・アンドラーヂの
人間像
——「メシア哲学の危機」分析
居村匠（秋田公立美術大学）

エリオ・オイチシカの参加型作品に
おける「組織的な錯乱」と「遊び」
山野井千晶（武蔵野美術大学）

リジア・クラーク中後期作品に
おける脱物質的オブジェ論
飯沼洋子（京都大学）

コメンテーター | 都留ドウヴォー恵美里（京都芸術大学）

司会 | 原埜（日本学術振興会）

16:00–18:00

研究発表

(午後2)

企画パネル
21世紀の戦争と表象
3階310番教室

「異なる近代」と情動政治
乗松享平（東京大学）

ロシアとウクライナの戦争と
反体制アート
上田洋子（株式会社ゲンロン）

戦争をめぐる映像と感性的なもの
松谷容作（追手門学院大学）

コメンテーター | 清水知子（東京藝術大学）

司会 | 本田晃子（岡山大学）

パネル7
「食べていい?」をめぐる快楽——
オーラル・セックス、ゾンビの食事、膨張する身体
2階210番教室

ゲイたちが口にするモノ
——今泉監督作品にみる「食べ物・食事」、
「オーラル／セックス」の表現とポリティクス
ストキンジェル・アルノー（神戸大学）

なぜ「人」でなければいけないのか
——ゾンビ映画における「食べる」こと
福田安佐子（国際ファッション専門職大学）

膨張する身体
——性的欲望と孤独を食べる／食べさせる
クィアな親密性
久保豊（金沢大学）

コメンテーター | 菅野優香（同志社大学）

司会 | 久保豊（金沢大学）